

川崎異業種研究会（以下略称川異研）は、当所会員企業から成る異業種交流のグループです。昭和62年7月に設立され、今年で25年目を迎えます。

川崎異業種研究会のホームページ <http://www.kawaiken.jp/>

## 平成24年度 川崎異業種研究会 通常総会開催されました。



平成24年5月10日（木）午後4：00より、川崎日航ホテル 11F 藤の間にて通常総会を開催し、平成23年度事業報告ならびに収支決算報告、平成24年度事業計画ならびに収支予算、平成24年度新役員選出が満場一致で承認された。

紀中会長から、平成24年度事業方針「川崎異業種研究会会員の融合」と事業内容として3つの骨子が述べられた。

- ①会員増強活動の促進…組織の活性化を図るべく、新入会員獲得のためにも継続的な活動をする。かわらばん・川崎商工人・ホームページ等の媒体で川崎の企業に広報をしながら、各会員が協力して会員候補を発掘するよう努める。
- ②会員交流事業の推進（定例会・分科会・国外視察会）…会員の一層の融合を目指し、主な事業である定例会・分科会での交流を充実させる。理念の一つである「事業運営は自主の精神」に則り、一つ一つの事業を会員自ら企画・参加することで、相互のさらなる理解と連帯を深めるものとした。本年は10月に国外視察会

を予定し、見聞を広げつつ新たな会員交流の場とする。

- ③企業間連携・産学連携事業の推進…助け合いの精神に則り、活動の原点である会員相互の企業連携事業を推進する。定例会・分科会・会員企業訪問等、全ての場をとおして実践する。また、社会科学系大学の和光大学との産学連携についてより研究をする。

続いて、午後4：30より、記念講演会を開催し、宮端清次 株式会社はとバス元代表取締役社長を招き、「お茶一杯から始まった“はとバス”の経営革新～私の実践的企業経営論～」をテーマに、講演はすすめられた。挫折・失敗から得た教訓、“はとバス”の再建・再生と復配の道、不透明・不安の時代に生き抜くリーダーの役割などが具体例を交えながら述べられ、参加者は真剣に耳を傾けていた。

その後、午後6時より、12F 東の間にて懇親会を開催し、山田会頭の来賓挨拶、来賓紹介、財団法人川崎市産業振興財団 大谷事務局長の乾杯発声の後、終始和やかに親睦を深め、神奈川県異業種グループ連絡会議 金究議長の中締により、盛会裏のうち散会となった。

### 5月分科会



平成24年5月16日（水）午後6：30～8：30、中原市民館第2会議室にて、会員10名、見学者2名、学生5名の参加を得て開催した。

和光大学経済学部 半谷俊彦教授を招き、「財政危機と消費税」をテーマに、講演はすすめられた。

半谷教授の専門は財政学で、大学では公共経済学を教えている。

今話題である消費税増税問題に関して、議論のポイントや是非の判断方法などが、わかりやすく説明された。

財政難によるギリシャの経済破綻の対策は、「財政の引き締め」、「景気を刺激する拡大路線」の2極化で、その根拠やメリットやデメリットについて何となくは理解しているつもりであったが、今回の話から、実際はほとんどわかっていないことに気付いた。

周知のとおり、日本の財政状況はひっ迫した状態で、とにかく、何か手を打つ必要があり、その方策の是非を国民一人一人が真剣に精査し、政治に反映させていかねばならないと実感した。

加入のお問い合わせは

事務局：麻生支所 TEL 044-952-1191